

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	老人福祉センター(7施設)
(2)施設概要	<p>施設の設置目的</p> <p>高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。</p>
	<p>①和楽荘</p> <p>所在地 さいたま市緑区三室2458</p> <p>開設年月 昭和45年12月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 一部2階建</p> <p>主な施設 健康相談室、談話・軽食コーナー、娯楽室、大広間、浴室、トレーニングコーナー、囲碁・将棋コーナー、多目的室、茶室、水屋</p>
	<p>②寿楽荘</p> <p>所在地 さいたま市桜区下大久保727-1</p> <p>開設年月 昭和54年9月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 2階建</p> <p>主な施設 健康相談室、会議室、集会室、大広間 リフレッシュコーナー、浴室、談話室、茶室(図書室) 囲碁将棋コーナー</p>
	<p>③あずま荘</p> <p>所在地 さいたま市大宮区東町2-105</p> <p>開設年月 昭和58年4月</p> <p>構 造 鉄骨造 2階建</p> <p>主な施設 健康相談室、会議室、浴室、娯楽室、集会室</p>
	<p>④東楽園</p> <p>所在地 さいたま市見沼区膝子1151-1</p> <p>開設年月 昭和59年5月</p> <p>構 造 鉄骨造 2階建</p> <p>主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、会議室、集会室、浴室、教養娯楽室、図書室</p>
	<p>⑤しもか荘</p> <p>所在地 さいたま市北区日進町1-800-105</p> <p>開設年月 平成5年7月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 2階建</p> <p>主な施設 和室、健康相談室、リラックスルーム、談話コーナー 浴室、茶室</p>
	<p>⑥いこい荘</p> <p>所在地 さいたま市中央区下落合5-11-12</p> <p>開設年月 昭和47年11月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 3階建</p> <p>主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、談話コーナー 浴室、大広間、洋室、和室、広間</p>
	<p>⑦馬宮荘</p> <p>所在地 さいたま市西区西遊馬533-1</p> <p>開設年月 平成14年5月</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート造 3階建</p> <p>主な施設 (馬宮コミュニティセンター)の一部 相談室、リフレッシュコーナー、ホール、教養娯楽室、大広間、浴室</p>

(3) 指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度 286,115千円 令和2年度 275,458千円 令和3年度 293,627千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 128,180人(前年度56,602人) ※和楽荘は中規模修繕のため、前年度から引き続き令和3年5月5日まで休館 ◇業務実施状況 新型コロナウイルスの感染症拡大防止に努めるため、事業の縮小や中止を余儀なくされることがありました。「高齢福祉課所管市民利用施設に係る利用再開ガイドライン(以下「利用再開ガイドライン」)」のステップに沿って事業展開を各施設で検討し、感染対策を十分に取ったうえでの事業実施となりました。それでも外出することに抵抗があるなどの高齢者に向け、在宅支援動画をSNSにアップし活用を促すなど、高齢者の生活の質を保つための支援も行いました。</p> <p>②維持管理業務の状況 職員が日々施設や設備の状況を確認し、点検記録表に記載をしています。「年間維持管理計画表」を作成し、定期的に専門業者による保守点検を実施しました。指摘事項があった際には修繕をするなど迅速な対応を図りました。利用者、職員への節電・節水を喚起しながら経費の節減に努めました。</p> <p>③その他の業務 各施設ごとに重点取組項目を設定し、達成できるよう職員間の連携を図りました。</p>
(6) 収支状況	<p>①収入 ・利用料金収入 135千円 (前年度 35千円) ・指定管理料 293,627千円 (前年度 275,458千円) ・その他 371千円 (前年度 123千円)</p> <p>②支出 ・人件費 164,670千円 (前年度 160,978千円) ・事務費 7,330千円 (前年度 7,351千円) ・施設管理費 98,529千円 (前年度 76,623千円) ・事業費 5,907千円 (前年度 3,907千円) ・繰入金支出 15,496千円 (前年度 15,496千円) ・その他 490千円 (前年度 1,844千円)</p>
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>法人の制度である①苦情解決制度 ②投書箱の設置「みなさまの声」③サービス向上担当者会議による「利用者アンケート」(無記名)を実施し、利用者からの様々な意見や要望を受け止めています。いただいた意見や要望への対応は、施設内に掲示等をし利用者へ周知しています。④日々の窓口業務等の利用者とのかかわりから、様々な意見や要望を受け付ける機会を持つことを継続しています。利用者からの要望で対応可能なものについては速やかに対応、改善を図りました。</p>
(8) その他	<p>新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、利用再開ガイドラインに基づき対策を講じました。①飛沫防止対策、三密回避の徹底 ②職員の出勤前の健康チェックの実施 ③職員、利用者の手指消毒とマスク着用の徹底 ④換気の実施及び設備・備品の消毒(定時、随時)の実施 ⑤入館時の「入館利用者記録票」の記入依頼と提出 ⑥掲示等による情報提供 ⑦新型コロナウイルス感染者(疑いを含む)が判明した場合、事業団フローチャートに基づく速やかな報告体制の整備 ⑧感染症対策に関する研修の実施</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
法人内施設との協働作業	<p>【他施設との協働】</p> <p>利用者が講師として教える囲碁・将棋教室を始めゲーム大会等を通しての世代間交流については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となっています。また法人内の障害者施設の授産製品の販売の協力を行いました。</p> <p>【実践事例発表会】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ウェブでの開催となりました。例年会場まで足を運ぶことが難しい職員も、自分の職場から他施設の業務内容や取り組みを視聴でき、見識を広める機会を持つことができました。</p>
利便性向上	<p>【利用者登録制度】</p> <p>登録を済ませるとさいたま市のシルバーカードに記載された番号を提示することで当法人が運営する全ての老人福祉センターで受付がスムーズに行えるようになること、緊急時の対応が円滑に行えることを説明し、希望する方に登録手続きを行っています。(登録情報は個人情報保護法に則して、適正な取り扱いを行います。)</p> <p>【施設間での事業案内】</p> <p>合同事業「アウトリーチ寄席・コンサート」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。</p>

<p>地域自治体や団体との 共同事業</p>	<p>【近隣保育園、学校、施設等との共催事業】 近隣小学校の町探検事業の社会資源の一施設として場の提供をしています。 予定をしていた保育園や学校との交流事業については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、中学生の職業体験「未来くるワーク」も中止となっています。将来看護師を目指す大学や専門学校の看護実習を受け入れ、高齢者と接することで、地域での生活をイメージし看護を行う大切さを伝えていきました。</p> <p>【地域連携及び団体連携】 地域の清掃活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっています。地域包括支援センター等との会議等も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対策を講じながらの参加や、書面による会議等に参加をしました。 老人福祉センター全体の取り組みとして、比較的若い高齢者層の利用者確保を模索している中で、身体機能の維持や改善、さらには認知症予防にも効果があることに注目して「シルバーeスポーツ」の研修や視察に参加しました。次年度以降にさらに広げていくため、試行的に実施した施設の状況、職員のかかわり方などを見極めています。 ケアラーのため広報・啓発活動を行うとともに、各種相談やサロン活動による集いの場の提供を通じ支援していくことを目指しました。</p>
----------------------------	---

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

<p>平成30年3月に法人で制定したコンプライアンス規程に基づき、コンプライアンスの実行を経営や事業にかかわる重要課題として認識し、法人としての倫理の遵守、公正で明朗な事業運営に努め、よき公益法人の実現を目指しています。そのために危機管理委員会、コンプライアンス委員会が中心となって構築した研修プログラムを実践し、法人全体で法令遵守に努めています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参集での研修が難しく、リモートでの研修をはじめ、インターネットの動画配信を利用した研修を取り入れ、多くの職員が同じ動画配信での研修を受け、資質の向上を図りました。</p> <p>老人福祉センター所長会議及び実務担当者会議を感染対策を講じたうえで開催し、施設としての「利用再開ガイドライン」の熟知と職員間の意識の統一を図りました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた事業が相次いで縮小や中止となる状況のなか、対策を講じながら七夕やゆず湯等の季節に沿った事業を行うことで利用者に季節を感じていただく機会を設けました。日々においては設備・備品の適宜消毒をして、利用者が安心して使えるように努めました。</p> <p>経費削減の観点では水道光熱費の節約はもとより、保守管理等の業務委託については法人内の複数の施設と仕様の統一を図り、入札等契約事務を取りまとめることで契約事務の効率化やコストの削減に結びつくようにしました。</p> <p>修繕については計画的な修繕が行えるよう修繕計画を立てて順次修繕をおこなっていますが、施設の老朽化に伴い経年劣化による緊急修繕が増加しています。利用者に安心と安全なサービスを提供するため、適宜修繕を行いました。</p>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A～D

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・老人福祉センターにおいては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、老人福祉センター所長会議や実務担当者会議の定期的な開催のほか、必要に応じて署長会議を臨時で開催し、各施設の情報を共有し、ガイドラインに即した施設運営を行ってきたことについて評価した。

・比較的若い高齢者層の利用者確保のため、新たな事業を取り入れるための研修や視察へ参加するなど、利用促進のための取り組みを行ってきたことについて評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、ガイドラインに即した施設の管理・運営を実施したことを評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。